

平成24年度 事業報告(概要版)

社会福祉法人 吉備の里

平成24年度は、身体障害者施設の新体系事業への移行や給食部門の法人直営事業への転換など、第二期中期計画に定めた以下の重点施策に取り組みました。

(H23年度)

吉備の里身体障害者授産所
(旧法身体障害者授産施設)

ヴェスタ
(旧法身体障害者福祉ホーム)

(H24年度)

吉備の里 希望
(福祉ホーム/就労継続支援B型事業)

共同生活住居 ヴェスタ
(共同生活介護/共同生活援助)

1. 施設の整備

利用者の方の地域生活移行を促進するため、住まいとなるグループホームの増設と老朽化した生活介護事業所について移転新設を行いました。

(増設) 共同生活住居アンサンブル (定員8名/共同生活介護/共同生活援助)

(新設) 吉備の里たんぽぽ (定員20名/生活介護事業)

2. 安全対策等の実施

利用者の方の安全安心を第一に、共同生活住居ヴェスタにスプリンクラー等の防火設備を整備すると共に、他の全共同生活住居にIHクッキングヒーターやエアコンを設置しました。

さらに、火災を未然に防止できるよう従来の防災規程や緊急対応マニュアルの全面的見直しを行いました。

3. 法人設立30周年記念式典の開催

平成24年11月3日、吉備の里の体育センターにおいて利用者及びご家族約400名の方が参加をする中、地域関係者の方への感謝状の贈呈や”吉備の里の今”と題した記念ビデオの視聴、利用者の方によるパフォーマンス等の内容を盛り込んだ式典を開催しました。

4. 新たな地域ニーズへの対応

相談支援センターの専任職員を増員し、福祉サービスを利用する全ての障害児者を対象とした計画相談を実施すると共に、障害児交流室(さんてらす)を拠点に発達障害児やその保護者等への相談支援の強化を図りました。

また、通所サービスを利用される町内利用者の方を対象とした送迎体制の整備を行いました。

5. 生産活動の充実

利用者の方の工賃や賃金を向上させるため、作業場で必要となる生産設備(大型洗濯機、運搬車両、印刷機器他)を充実すると共に、バザー販売の強化や行政・農家と連携した新たな作業(M ATAGIプロジェクト)に参画をしながら、安定的な仕事の確保に取り組みました。

(H24年度工賃支給実績)	(平均工賃月額)
吉備の里希望(就労継続支援B型)	18,919円
吉備の里なでしこ(就労移行支援)	14,395円
吉備の里ひなぎく(就労継続支援B型)	21,120円
吉備の里チャレンジ(就労継続支援A型)	87,352円

6. 就労移行、地域移行の促進

障害者職業センターや公共職業安定所等と連携しながら、職場開拓・職場実習等の強化によって就労を促進しました。また、事業所での生活訓練や社会体験等の支援を通して地域生活への円滑な移行を図りました。

(H24年度就労移行実績)		(H24年度地域移行実績)	
吉備の里 希望	6名	吉備の里なでしこ	15名
吉備の里なでしこ	7名	吉備の里つばき寮	8名
吉備の里ひなぎく	3名		

7. 人材育成

公共性の高い法人として、社会的規範の遵守や人権意識の高揚を図るための体系的な研修を行うと共に、チャレンジシート(目標管理)活用し、キャリア形成、能力開発等を図りました。

〈参考〉

●運営事業所等の状況

(居住支援事業所定員数)		(日中活動支援事業所定員数)	
吉備の里希望	40	吉備の里希望	40
吉備の里なでしこ	40	吉備の里なでしこ	40
吉備の里つばき寮	20	吉備の里ひなぎく	40
吉備の里地域生活ホーム	87	吉備の里チャレンジ	20
計	187	吉備の里地域活動支援センター	10
		計	150

●職員数の状況

96人(委託職員数を除く)